

# 横越っ子の声 (ことば)

2024年11月28日、横越中学校で「横越っ子 明日(みらい)への扉」を開催しました。中学卒業後、自身の成長とともに、“人生の選択”をしてきた3名の先輩(ひと)のお話を聞いた生徒の皆さんが寄せた声の一部をご紹介します。

●3名の人生の先輩(ゲストスピーカー)は……

栗林 礼奈さん (株)マスヤ執行役員兼味方店 店長

高島 みどりさん エムシェリ 店長

藤野 栞菜さん 国立病院機構 西新潟中央病院リハビリテーション科



どんな大人にあこがれるか。	自分の未来にむかって自分にかかる言葉
★ 自分の意見をしっかり持っている人	★ 人からどう思われているかを気にするよりも、信頼できる人を見つけて、その人という方が楽だよ
☆ 周りがよく見えていて、周りのことを考える人	☆ 今を頑張れ
★ 毎日が楽しく過ごせる人	★ メリハリをつけてがんばって
☆好きなことを仕事にしている人	☆ 努力はムダにならないから、自分を信じて進んで!
★ 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える人	★ HappyならOK
☆ 子どもにも優しい人	☆ 乗り越えた壁は、いつか自分を守る盾になる
★ 自分にできることを見つけ行動している人	

## 横越文芸誌(春号) 作品(俳句・短歌・川柳) 募集

●応募数 1人5句(5首)まで

●俳句のお題 春季雑詠

●応募メ切 4月10日(木曜)

●応募方法 はがき・封書・FAXで、原稿末尾に住所・氏名・俳号等(ある方)電話番号を明記してご応募ください。

●応募先 横越地区公民館「横越文芸誌」係

※横越文芸誌は年4回発行。春号は5月末に発行で横越地区公民館にあります。



横越地区公民館

【発行 新潟市横越地区公民館 〒950-0218 新潟市江南区いぶき野1-1-2】

▼ TEL 025-385-2043 FAX 025-385-4431 Mail [yokogoshi.co@city.niigata.lg.jp](mailto:yokogoshi.co@city.niigata.lg.jp)

▼ 開館時間 月曜～土曜 9:00～21:30 日曜 9:00～17:30

▼ 休館日 第4月曜日(祝日の場合翌日) 年末年始(12/29～1/3)

(4)

# 横風 たより

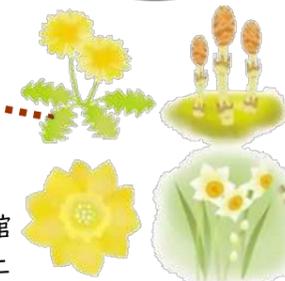


春号

横越地区公民館

## 春をつむぐ

新潟市横越地区公民館  
館長 山本 英二



2月の立春が過ぎると、何となく“春”が顔を出し始め、寒さを感じつつも、あと一歩であの穏やかで心地よい日々が……と気持ちが少し前のめりになります。年の始まりは元旦といいますが、私たちの暮らしのリズムからすると、春が一年の始まりではないかなあと思ったりします。

春の訪れは、【新】という言葉を選んでくれます。新入生、新入社員、新学年、新天地、新年度…あちこちでもこっちでも装い新たな光景が見られます。新たな場で人との出会いもあることでしょう。

♪童謡 いちねんせいになったら いちねんせいになったら ともだちひやくにんできるかな♪ こんな歌があったかと思いますが、なかなか歌のようにいかない時代です。行動範囲が広がる大人でも、友だち百人は高い壁かもしれません。百人という数でなく、生涯つきあえる人に出逢えることが、その人を大きくするのでないでしょうか。

昨年秋、一つの歌に出逢いました。ネクサス・わかば(幅広く障がいのある方を支援している施設)のうたで、文化祭2024のとき発表していただきました。歌詞の一部を紹介します。

「くりかえす毎日 気持ちも変わるよね  
イライラしたり怒ったり 泣きたいときもあるよね  
どうしたらいいか困ったら みんなで考えよう(みんなで考えよう)  
答えはないけど なんとかしよう」

とかく個が優先する今にあって、社会や私たちにとって大切なことが詰まっています。このうたをみんなが歌ったネクサス・わかばの皆さんは、きっと今よりも大きくなるのでないかと思います。

【新】が似合う春。くりかえす毎日の中で“新たなヒト・コト・モノ”に出逢い、つむぐことで、一歩前へ進み、ちょっと視界が広がるかもしれません。答えはないけど、当館が皆さんにとって春をつむぐ場になれるよう、なんとかしようと思っています。

(1)



スピーカー 石塚千加子さん（横越語り部サークル）

横越を支える人たちのお話を聴くシリーズ。3回目は横越語り部サークル 石塚千加子さんです。

●事業のくわしいことは  
あらためてご案内します。

### どまんなか

令和7年度

## 横越っ子 大作戦

横越の子どもたちを育もう”。そんな想いから、横越地区公民館では地域や学校（横越小・中）と力を合わせ、子どもたちがどまんなか  
に立って、周りの大人との交流や新たな体験に出逢える場を支援して  
います。子どもたちが『横越で育ってよかった』と思ってもらえるよう、  
何ができるか……、そんな目線で事業を実施します。

令和7年度事業（対象 小学生・中学生）★対象 小学生 ☆対象 中学生

★横越ごはん塾

食を大切にする子どもに。親子でみそづくり。ごはんのみそ汁づくり。  
「食」をテーマにしたお話（話し手 比良松 道一 さん）

★横越がっつり塾

ものづくりをテーマにした体験塾。

★こども公民館

学校の昼休み時間  
遊びをとおして地域との交流を。

★こどものあそびば

遊びが好きな子どもに。  
子どもの居場所づくりと交流。

☆横越っ子明日  
（みらい）への扉

成長とともに選択する力を身につけて…  
人生の選択をしてきた先輩のお話と交流

☆横越っ子  
テスト前の頑張リルーム

公民館を活用した子どもの学習の場の支援  
テスト前の勉強を応援します。

★横越っ子に届ける  
☆ 人権たいむ

「子どもの人権」テーマにした  
外部講師による お話

★横越っ子  
☆ものづくりくらぶ

部活動の地域移行を  
視野に入れながら、  
持続可能な子どもの  
文化活動体験の場の支援



### Q 横越語り部サークルの誕生秘話を聞かせてください。

平成12年、横越町が『横越のむかし語り』（175話収録）を  
発行しました。横越に伝わる昔話を読むだけでなく、“言葉”で  
伝えられたらと、町主催で語り部養成講座が開かれ、同講座に  
参加した人たちが自主的にサークルをつくったのが始まりです。



『横越のむかし語り』

### Q 昔話はどこへ届けていますか。

活動当初は、北方文化博物館や古民家などで行いました。回を重ねるごとに参加の輪が広がり、小学校や福祉施設などにも呼ばれるようになり、子どもたちには初めて聞くであろう土地（横越）の言葉を届けています。月1回（毎月第3又は第4土曜日）江南区郷土資料館でも語っています。横越地区公民館文化祭でもお話しています。

### Q 昔話を伝える魅力は何ですか。

昔話をとおして、その土地でどんな生活をしてきたか想像することができます。土地の言葉を聞く・知ることは昔の暮らしに触れることにつながります。昔話には類似の内容が多く、よその土地で横越で伝わる昔話のようなものに触れることもあります。子どもたちが大きくなり、横越を離れても、住む土地で昔話を聞き、“そういえば横越にもこんな話、あったな～”と思ってもらうだけでも良いと思います。横越への愛着も生まれるといいですね。



文化祭でも昔話を方言交えて優しく語る  
【横越地区公民館文化祭】



毎月1回開かれる昔語りの会  
【江南区文化会館（江南区郷土資料館）】